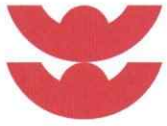


MOVE
FORWARD



令和4年度 出雲市職員採用案内



大好きな出雲を、
あなたの力で前へ！

最新情報は
こちらをチェック



ご当地ナンバー
「出雲ナンバー」
デザイン

島根県
出雲市

出雲市長メッセージ

元気な出雲
活力ある出雲
笑顔の絶えない出雲

出雲市長
飯塚 俊之

出雲市は、全国的な人口減少の流れの中、人口17万人台を維持しており、山陰地方の発展をけん引する存在となっています。

その一方で、市内では人口が増加している地域と減少している地域の二極化が進んでおり、どこに住んでも安心して暮らせるよう地域の課題に応じた支援を進めています。

現在、出雲市では、新型コロナウイルス感染症への対応、自然災害への対応など、今までに経験したことのない業務が多発する中、職員はこの難局を乗り越えるため一丸となって業務に取り組み、一日でも早く普通の市民生活を取り戻せるように奮闘しています。

市政を前に進めるためには、職員一人ひとりが知恵を絞り、自ら行動していくことが必要であり、そして何より職員が市民から信頼されることが重要です。

「Move forward! Build trust!～市民の信頼を得るためには、まず笑顔から～」という職員スローガンを掲げ、元気な出雲・活力ある出雲・笑顔の絶えない出雲をめざしていきます。

出雲市の輝く未来を一緒に作り、盛り上げていきましょう。

求める人物像



3

環境
環境の変化に対応でき
堅実に業務が遂行できる意欲のある人

2

柔軟性
柔軟性とコミュニケーション能力を備え、
相手を思いやる温かい人

1

使命感
使命感を持ち責任感の強い人

出雲市概要と 主要な政策

人口 174,593人 (令和4年1月末)

沿革 H17.3.22 合併 出雲市、平田市、佐田町、
多伎町、湖陵町、大社町

H23.10.1 編入 斐川町

総面積 624.4 km²

大好き出雲!
IZUMO



ゼロカーボンシティへの挑戦

2050年二酸化炭素排出実質ゼロをめざし、「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを2021年5月に宣言しました。

エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーのベストミックスを進め、「脱炭素のまち出雲」を実現していきます。

デジタルファースト

2020年6月、デジタルファースト宣言をしました。

誰もがデジタル技術を簡単に利用できる、「人にやさしいデジタル化」に努めています。

持続可能な地域づくり

- 雇用の場を確保し、UIターン者の出雲市への移住促進と若者の定住支援に努めています。
- 結婚から子育てまでを切れ目なく支え子育てと仕事の両立支援の充実を図っています。
- 中山間地域の支援についてサポート体制を拡充し、地域のニーズに沿った施策を実施しています。

1. 雇用創出 2,500人プロジェクト

平成24年度からの10年間で2,500人の雇用創出を目標に、出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場の創出をめざしています。

直近5年間の実績値は1,622人でそのうち令和2年度は345人の雇用が生まれています。

2. 定住人口キープ 170,000人プロジェクト

定住人口17万人をキープするため、ひとの流れをつくり、子育てしていく希望をかなえる環境づくりに努めています。直近5年で3,060人の社会増を実現し、出生数も7,486人と高い水準を維持しています。

3. 交流人口1,200万人プロジェクト

新型コロナウイルス感染症が拡大する前の、令和元年における観光入り込み客数は1,200万人を超え、県内最多です。出雲大社周辺を中心に年間約630万人が訪れ、島根県の観光をけん引しています。

4. 住みやすさNo.1プロジェクト

市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」について、令和元年度の調査結果は、86%でした。住みやすさNo.1のまちづくりを実践するとともに、住民による主体的な地域づくりを進めています。

職員からのメッセージ

Young staff message

保育幼稚園課 — 行政 —

たちばな ゆうき
立花 祐樹
(令和2年度採用)

市役所の仕事は自分が成長した分、出雲市に還元することができるやりがいのある仕事だと思います。試験対策は大変だと思いますが、出雲市役所で自分が活躍する姿をイメージしながら頑張ってください。可能性と魅力溢れる出雲市と一緒に創っていきましょう!



担当業務のやりがい

保育幼稚園課では、保育所・幼稚園・認定こども園の入園手続きや施設の管理・運営などを行い、保護者さんや保育所・幼稚園の先生方・他市町村の職員さんなど多くの方と関わることができます。窓口で「丁寧に説明して下さってありがとうございました!」と言われたとき、保護者さんの力になれていることが実感でき、やりがいを感じます。子どもたちの笑顔があふれるようにこれからも全力でサポートしていきます!

職場の雰囲気

優しくユーモア溢れる方ばかりなので、いつも楽しい雰囲気です。仕事ができています。歳が近い先輩も多く、困ったことや疑問点を気軽に相談できる環境です。繁忙期も係のメンバーで協力して目標を達成しようという空気があるので、モチベーションを高く持ちながら仕事できています。

担当業務のやりがい

出雲市の保健師は地区担当制と業務担当制の併用体制をとっています。私が担当する業務は主に母子保健で、平田地域の乳幼児健康診査のスタッフ調整や母子への家庭訪問に関する事業運営をしています。また、担当する地区では、訪問や子育てサークル、高齢者サロンでの健康教室等を通して、健康づくりをしています。育児不安のある方と関わる中で、子育てサークルや市の相談事業を利用して育児に自信をつけていく姿を見て嬉しく感じています。

出雲市を志望した理由

母から「育児に自信が持てないときに、保健師さんに話を聞いてもらって安心できた」という話を聞いて、地域で困っている方に寄り添うことができる保健師という仕事に魅力を感じていました。大学時代、県外での生活を経験したことで故郷である出雲市に貢献したいと考えようになり、行政保健師を志望しました。

Young staff message

平田行政センター 市民サービス課

保健師
なごら まき
柳楽 真希
(令和2年度採用)

はじめは不安かもしれませんが、プリセプター制度があるので先輩保健師へ相談しやすく、少しずつ職場になじんでいくことができます。また、経験年数に応じた教育体制も充実しており、保健師として成長できる環境も魅力です。



担当業務のやりがい

下水道建設課では、主に下水道の設計や工事の発注、施工管理を行っています。また、下水道の点検・調査や施設の長寿命化を図る修繕工事等も行っています。市民の暮らしに欠かせない下水道に携わる仕事は大きな責任を伴いますが、一方で非常にやりがいのある仕事だと思います。設計から完成まで携わることができるため、無事に工事が終わった時には大きな達成感を得ることができます。

ある1日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:30 打合せ
- 12:00 休憩・昼食
- 13:00 設計書作成
- 14:30 工事現場確認
- 17:15 終業

Young staff message

下水道建設課 — 土木技師 —

いとう りょうた
伊藤 瞭汰
(令和2年度採用)

役所という堅苦しいイメージを持たれがちですが、実際は、明るく優しい方ばかりでとても良い雰囲気の中でのびのび働くことができます。採用試験は大変ですが、出雲市をよりよい街にしたいという気持ちが一番大切だと思います。頑張ってください。



荒木幼稚園 — 幼稚園教諭 —

はまだ るい
濱田 留衣
(令和2年度採用)

私は大学で県外へ出て、故郷の出雲が自分の支えになっていると感じました。私と同じように、出雲に帰りたい、出雲で頑張りたいと思う子どもが増えていような保育に携わりたいと思い、出雲市を志望しました。

Young staff message

仕事のやりがい

平成の大合併と言われる市町村合併を2度も経験し、それまで職員70人余りだった自治体から、一気に1,500人規模に膨らんだことで、より多くの仲間が増え、人生観や世界観が広がりました。大きなイベントを終えたときの達成感はもちろん、市民の方々に喜ばれ、頼られ、感謝されることが、一番のやりがいです。

大切にしていること

職場の仲間を大切に、常に共同作業ができる環境をつくること。自分の仕事だけ終わればいいのではなく、皆が何をしているのか気にかけること。また、今忙しいのは何か、気配り、目配り、思いやりの気持ちを大事にしています。また、職場のサークルや市民との交流事業に進んで参加し、自分自身が楽しめるよう心がけています。

Career staff message

総務部 人権同和政策課

にしお あい
西尾 愛
(平成24年度採用)

出雲市は、知名度があり、地域資源が豊富で、利便性も高いとても良いまちですが、課題も山積です。子どもたちによりよい出雲市を残すために私たちの世代がしっかり考えて行動していかなければなりません。一緒に住み続けたいまちナンバーワンを目指しましょう!



担当業務のやりがい

子どもは同年齢であっても一人ひとり生活経験や興味関心が異なります。毎日の保育の中で、一人ひとりが自分らしさを発揮し、楽しさや面白さを感じてくれることが何より嬉しいです。遊びの中での学びはとて難しいですが、同僚や上司と共に話し合い、協同性をもつことで、自分自身も成長できると信じて毎日頑張っています。

ある1日のスケジュール

- 8:30 園児登園
- 9:00 全園児活動、朝の会、製作活動、運動遊び、個々に取り組む遊び、仲間やクラスで課題を持って取り組む遊びなど
- 11:30 給食準備・給食指導 清掃・当番活動
- 14:00 帰りの会
- 14:30~17:15 園児降園、保育室の環境整備、保育準備、職員会、おたより作成など

Career staff message

健康福祉部 次長兼市民課長

いけだ とおる
池田 徹
(昭和58年度採用)

自治体業務はお堅い事務ばかりでなく、イベントや企画系、情報系の仕事もあり、多様な経験を積むことができます。縁結びのまち、笑顔と人間味があるまち、やっぱりここに住みたいと思うまち「出雲市」で、あなたの力を発揮してみませんか。

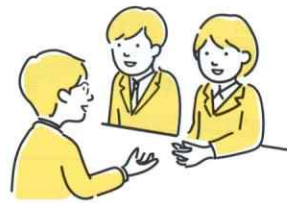


担当業務のやりがい

人権に関する講座や講演会の企画・運営、地域や企業などへの講師派遣、広報などを担当しています。成果が見えにくい分野ですが、すべての人がその人らしく、ありのままに生きられるまちを目指して、さまざまな困難を抱えている人たちに寄り添い、その現状と課題を伝えるという業務に誇りを感じています。

育児との両立について

2人の子どもを育てながら時短勤務をしています。休日や時間外の勤務もあるので、職場と家族の理解や協力は欠かせません。家事や育児、仕事が優先で心の余裕がなくなってしまうがちなので、意識的に自分の時間を作るようにしています。昨年からは職員を中心とした子育てサークルをはじめましたが、互いの育児や仕事の悩みを打ち明けられるとても大切な仲間です。



様々な部署で活躍している採用2年目の職員7名に採用試験や入庁後の様子について聞いてみました。

若手職員座談会

後列左から

柳楽 翔太 (健康増進課)
※8年目 (司会)
立花 祐樹 (保育幼稚園課)
長岡 伊里弥 (都市計画課)
小村 修平 (文化スポーツ課)

前列左から

糸賀 隆介 (営業総務課)
錦織 知里 (市民課)
三島 あおい (福祉推進課)
山根 貴志 (健康増進課)



採用試験に向けて どんな対策をしましたか？

柳楽: まず、出雲市役所を志望するにあたり、採用試験に向けては、どんな準備をしていましたか？

立花: 参考書を繰り返し解いていました。友だちと問題を出しあったり、カフェで勉強したりと飽きないように工夫しました。面接対策は、大学・ハローワーク等で実践的な練習をしていました。多くの先生と面接を練習することで、本番でも柔軟に対応することができたと思います。

長岡: 大学の公務員講座で試験対策をしました。また、一緒に勉強する友達を作るのも良いと思います。人に教えることで自分がどれだけ覚えているかも分かるのでオススメです。他には試験に慣れるため、色々な公務員試験を受験しました。

錦織: 私は自己紹介シートを確認しながら、これまでの経験や自分自身について、紙に書き出して整理し、自分の言葉で話せるようにしました。また、出雲市のHPで市の政策や力を入れている取り組みなどを調べました。柳楽: 大学生の頃に出雲市のインターンシップや企業説明会に参加してくれた人もいますが、参加してみてどうでしたか？

小村: 大学3年生の夏に出雲市役所のインターンシップに参加し、観光課で「出雲神話まつり」の準備及び当日の運営補助をしました。当日、来場者の方々の笑顔を見た時にやりがいを感じたことを覚えています。また、実際に市職員の業務を体験できたことは、試験を受けるうえでとてもプラスになりました。山根: 出雲市が主催する出雲地区企業説明会に参加しました。試験準備をする中で気になったことを直接聞くことができる良い機会でした。また、出雲市主催のため、実際に職員が働く姿や企業と一緒に出雲市を盛り上げ

ようとする様子を見ることができ、良い刺激になりました。

採用試験で印象に残っていることは？

柳楽: 実際に出雲市役所の採用試験を受けてみて、思い出や印象に残っていることはありますか？

小村: 一次試験(筆記)の前日に、緊張から一睡もできず、眠気に耐えながらの試験になったことです。

立花: 夏の暑い時期に面接があったのでスーツが凄く暑かったです(笑)。暑さ対策、水分の準備はしっかりすることをお勧めします。

糸賀: 筆記試験では高校の同級生など知り合いがたくさんいて緊張しました。面接試験では人事課の担当者さんがいろいろ話しかけてくださって、緊張が和らぎました。

三島: 面接官が思ったよりも多くて驚いたけど、待ち時間に職員の方に話しかけていただいたおかげで、少し緊張がほぐれた状態で面接ができたのでよかったです。

社会人になって 大変だったことは？

柳楽: 市役所に入庁すると学生時代とは生活も大きく変わるけど、社会人になって大変だったことは何ですか？

糸賀: 入庁してすぐのころは業務に係る制度や手続きの方法など覚えることがたくさんあり大変でした。

三島: 窓口や電話対応にはなかなか慣れませんでした。先輩の対応を見て、数をこなす中で覚えていくことも多く、失敗したということもありましたが、周りの人達がフォローしてくれました。

長岡: 方言(出雲弁)が全く聞き取れず、電話対応には苦労しました。また、大学生活からの切り替えという意味で、言葉遣いや週5日働くことに慣れるのが大変でした。

小村: 学生時代は、生活が昼夜逆転することも多々あったので、社会人になって毎朝6時半に起床しなければいけないことには苦労しました。

山根: 人の顔と名前を覚えることです。社会人になると沢山の人と関わりますが、コロナ禍でマスクが当たり前になったため、特に苦労しました。

錦織: 車通勤に慣れるまでが大変でした。入庁前には市役所まで運転の練習をし、入庁直後は、他の車が少ない朝早い時間に家を出て、何回も切り返して駐車をしていました。課によっては公用車の運転をする機会もあるので、早くから運転の練習をしておけばよかったと思いました。

仕事で悩んだときの対処法 を教えてください

柳楽: 採用されたばかりだと分からないことや不安も多いと思います。仕事で悩んだときの対処法について教えてください。

立花: 先輩に相談するようにしています。経験豊富な先輩方に相談すると多くの解決策を教えてくださいるので、とても助けられました。1年目はメンター制度※があるので、先輩に相談しやすい環境が整っていると思います。

錦織: 私も上司や先輩に相談するようにしています。自分だけでは判断できないことや困ったことがあれば、自分なりに調べて考えをまとめてから相談するようにしています。

小村: 上司・先輩と気兼ねなく相談できるような、休憩中に雑談をするなど、積極的にコミュニケーションをとるように心がけています。自分から話しかけることは勇気がいるですが、



良い関係性をつくることで、職場の居心地も良くなり、仕事の効率も上がると考えています。

プライベートの 過ごし方は？

柳楽: 社会人になるとオンとオフの切り替えも大切になりますが、休日等はどのように過ごしていますか？

糸賀: 釣りや登山などアウトドアに出かけています。釣りは季節ごとに様々な魚が釣れるので楽しいです。また、出雲には登山コースがいろいろあり、特に大社の弥山からの景色はすごくきれいです。

山根: 休日は、外出する日が多く、ドライブ・外食・パドミントン・甥の子守り等なんでもします。日曜日はのんびり過ごしている日が多いです。定後は、パドミントンかジョギングをしていることが多いです。体型の維持に必死です。

長岡: 仕事終わりは筋トレやゴルフの練習をしています。休日は草野球やゴルフのラウンド回りをしているため、家でゆっくり過ごすことはほとんどないかもしれません。

三島: 買い物に行ったら好きなものを買ったり、友達とカフェにいったり気分転換したりしています。あとは家に小さい子がいるからその子に癒されてもらっているかな。



志望者へのメッセージ

柳楽: では、最後に出雲市役所を志望される皆さんへのメッセージをお願いします！

小村: 自治体職員というのは、幅広い業務を行います。その中で自分がどのような職員になりたいのかをイメージして、筆記試験・面接の対策を頑張ってください！

糸賀: 採用試験にむけて大変な期間が続くと思いますが、出雲市で働きたいという思いをもって、最後まで頑張って下さい。いつか一緒に働けることを楽しみにしています。

長岡: 就職活動は大変だと思いますが、終われば残りの学生生活は卒業旅行に行く等、とても有意義なものになると思うので、頑張ってください。

立花: 出雲市はこれから更に成長する可能性にあふれた市だと思います。ぜひ私と一緒に素晴らしい出雲市を創り上げていきましょう！

三島: 試験は緊張すると思いますが、面接官の方々も皆さんを知ろうとくださるので、今までやってきたこと、出雲市への思いをしっかりと伝えられるように頑張ってください！

山根: 試験対策、社会人になってから、どちらでも言えることですが、頑張ることと無理をすることは違うと思います。息抜きもしながら、自分のペースで頑張りましょう！

錦織: 出雲市で働きたいということ、存分に伝えてください。面接官の方々に自分の素直な気持ちをまっすぐ伝えることが一番大切なことだと思います。一緒に働けるのを楽しみにしています！

※メンター制度: 新規採用職員が相談できる先輩職員(メンター)を選任し、相談や面談等のサポートを行う制度

令和4年度出雲市職員採用試験日程

採用試験日程	前期試験	後期試験
受験申込期間	4月20日(水)～5月16日(月)	7月20日(水)～8月15日(月)
第1次試験(筆記)	6月19日(日)	9月18日(日)
第1次試験(面接)	7月中旬※行政のみ	—
第2次試験(面接) ※幼稚園教諭は実技あり	8月中旬～下旬	10月中旬～下旬
最終合格発表	8月下旬～9月上旬	10月下旬～11月上旬

※採用試験の詳細は、出雲市ホームページ、広報いずも等でお知らせします。

< 勤務条件等 >

勤務時間・休日

◆勤務時間

8:30～17:15

◆休日

土・日曜日、祝日、年末年始

※職種、勤務場所によって異なる場合があります。

休暇

◆年次有給休暇

〈年20日+前年度繰越分(最大20日)〉

※新規採用者は年15日

◆特別休暇

〈夏季休暇、慶弔休暇、ボランティア休暇、男性の育児参加休暇、子の看護休暇、結婚休暇、出生サポート休暇、介護休暇など〉

給与

◆初任給(月額)※令和3年4月1日現在

大卒 182,200円

短大卒 163,100円

高卒 150,600円

※職歴等がある人は、その経歴・職種・年数等に応じ、上記に加算した額が初任給となります。

◆手当

期末・勤勉手当(6月、12月)、通勤手当、住居手当、扶養手当など

問い合わせ



出雲市役所 総務部 人事課

〒693-8530 出雲市今市町70番地
TEL:0853-21-6797